

ベトナムに開発子会社

レイシスソフトウェア サービス スマホ用製品拡充

レイシスソフトウェア サービス(大阪市西区、小野逸二社長、06・6532・9357)は、ベトナムでオフィスア(海外委託)開発に乗り出す。ハノイに全額出資子会社を新設し、10月に営業を始める。同社の海外拠点は初めて。まず自社製品の開発を日本から段階的に現地法人に移管して開発費を低減する。

併せて新サービス開発を加速してスマートフォン

ン(多機能携帯電話)向けやクラウドコンピューティングを中心に自社製品を拡充。売上高10億円(11年1月期は約6億5000万円)の早期達成を目指す。

ベトナム新会社「レイシスベトナム」は、資本金10万ドル(約770万円)で8月16日に設立した。10月に現地従業員10人で立ち上げ、1年後に50人に増やす。5年後をめどに100人規模に拡大する考えだ。

スマートフォン向けのアプリケーション(応用ソフト)や、ネットワーク経由でIT資源を提供するクラウドサービスなどの自社製品開発を人件費の安いベトナムで行

い、年間で約4000万円の開発費を削減する。新製品開発も加速して世界展開を視野に入れる。また12年秋には現地の日系企業を対象に、システム構築(SI)案件

の受注活動も始める。将来は日本で受注したSI案件をベトナム子会社で開発できるようにする。

レイシスソフトウェアは89年に設立し、製造業、医療系、金融系などのSIで実績を重ねてきた。従業員は約80人。ベトナム子会社は13年1月期に売上高3000万円、18年1月期をめどに同3億~4億円を計画する。